

特集

私たちの安心安全な暮らしは 地域の消防団に守られている 菊川市消防団に聞きました

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、「自らの地域は自ら守る」という郷土愛の精神のもと、地域や家族、仲間を災害から守るために、団結して活動している消防団の活動について聞きました。

「団員は頑張ることと存在意義を感じる。地域に貢献できるところがやりがい。」

〈消防団の活動はどんなことがありますか？
やりがいや目標、また大変だと思いつことは？〉

・災害時の出動準備、訓練、各種資機材の管理、地域のイベントへの参加、消火器の点検、防災訓練、冬の夜間見回り、団員の勧誘などを行っている。育った地域を守る訓練であり、地域のために先輩が頑張っている姿を見てきたので頑張っていこうと思っている。少し自分の時間が足りないと思うことも…。

・査閲大会や訓練は大変だが団員同士の絆を深め、災害時に役立つことがやりがいになっている。家庭と仕事との両立、早朝夜間訓練が大変だが団の繋がりが深まる良い点もある。

・防災会議、自治会の定例会への出席等地域との連携。世代、業種を超えた交流ができてよかった。大変なことは仕事との両立。
・火事場に強いということをモットーに若い

団員を教育、すぐ動ける体制をとっている。地域に貢献でき、やりがいがある。人との出会いもある。大変なことは団員の勧誘。詰所の保守や整備、地域の点検、台風大雨時には土砂崩れ・河川の点検等をし、団員になったことで危険個所の目配りが出来るようになった。団員や地域との繋がりがやりがいになっている。課題は、市外で働いている団員が多く、緊急時に出動できる団員が少ないこと、農家の団員は夏が多忙で参加が大変なこと。

〈火事の原因の傾向や市民の方に知ってほしいことは？〉

・消火器や水の用意がなく、野焼きの火が移ってしまうことが多い。
・野焼きは消防署への届出が必要で、消火用の水の用意も義務なので守って欲しい。

◀ 水防訓練



◀ 地域のイベント



〈団員確保の状況は？ また、市民や自治会へ望むことはありますか？〉

・入団の勧誘は対象年齢の方に声かけしているが、県外へ出たりと対象者も減っている。なかなか進まない。個人情報保護が厳しく対象者の情報が乏しいのが課題であり、自治会の協力が欲しい。

・昔の、先輩に言われ消防に入るのが当たり前前の時代の消防団のイメージが強いが、今